

講義コード	11C0127200	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	都市経済学2 / 特殊講義<都市経済学B>					小林 隆史		第2期	
履修前条件						備考			
授業の目的	現代社会において、人口が集中する都市のシステムとそこで生じている問題について学ぶ。経済学的視点を通して、「空間(土地の広がり)」を持つ都市システムにおける課題解決方法について講義する。								
到達目標	都市の空間を念頭においた、都市問題について学び、その対応策としての制度・政策の意味を理解できる。また、課題解決の思考に基づいて、未来の住まい方について考えることができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	事前に指定された教科書の該当箇所を通読しておくこと、また授業時に作成したノートに基づいて理解を深めるための復習を必要とする。参考となる資料やインターネット等での自主学習を推奨する。以上の予習・復習および自主学習のために計60時間以上の授業外学修を実施すること。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション 【第2回】 ゾーニング 【第3回】 都市の規模 (1) 【第4回】 都市の規模 (2) 【第5回】 都市の規模 (3) 【第6回】 データ演習 (1) 【第7回】 交通システム (1) 【第8回】 交通システム (2) 【第9回】 交通システム (3) 【第10回】 データ演習 (2) 【第11回】 公共サービス (1) 【第12回】 公共サービス (2) 【第13回】 公共サービス (3) 【第14回】 都市の課題解決にむけて 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	期末試験(自筆のノートのみ持込可)を中心に評価する。講義中に提示する課題、授業態度も勘案する。								
フィードバックの内容	講義中の演習課題に関して、講義期間中に説明を行う。講義終了後も、講義内容についての質問を受け付ける。								
教科書	『都市経済学の基礎』佐々木公明・文世一(有斐閣アルマ)2000								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	「ミクロ経済学基礎」, 「ミクロ経済学基礎演習」を受講済みである学生を対象とする。また, 「ミクロ経済学」, 「都市・地域分析」, 「都市経済学1」を受講済み, または受講中であることが望ましい。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は, 学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。また, koba@ris.ac.jp 宛への質問も受け付けるが, 「***@rissho-univ.jp」から発信されたメールのみとする。								
その他	参考資料等は適宜指示する。								